



元気・笑顔・成長！南小



Ver 3.0

第5号 令和7年5月29日発行

発行者 校長 田口広治

児童数 167
PTA数 124

全校集会 自他を大切にします！



■5月20日（火）の全校集会で、「いじめ、みちゃった」という絵本を基に、
いじめについて考えました。次のような話です。

相良南小HP↑

あれって、いじめかな？あの子、悪口、言われている。たたかれたり、つつかれたり。
遊びにもいれてもらっていない。

ぼくはちょっとこわかったけど、「どうしてそんなことするの？」と聞いてみた。「これは
ぼくらの遊びだよ。この子がのんびりやだから、たまに遊んであげてるだけ」…本当かな？
「ぼくはだいじょうぶ」ってあの子は言ってる。…本当かな？

あの子、最近ひとりぼっち。

でも、みんな、何もしない。ぼくも、何もできない。あの子に声をかけたら、ぼくも悪
口言われちゃうかな。それはこわいな。

ここで、「いじめは、いじめている人、いじめられている人、見ている人・まわりの人がい
ます。どうすればいじめはなくせるか、近くの人と話し合ってください」と投げかけました。

各学年、よく話し合いをしています。発表では、たくさんの挙手がありました。

「見ている人が、だめだよと言ったらいいい」「いじめられている人が、先生に相談したらい
い」「見ている人が、先生に相談するといい」といった意見を発表してくれました。

■話の続きです。

ぼくは学校で見たことをお兄ちゃんに話してみた。「ふむ…それはいじめだね。ぼくも
前にまきこまれたことがあるよ」お兄ちゃんが言った。

「だれかに何かをされて、つらい子がいたら、それはいじめだよ」お兄ちゃんは教えてく
れた。「どんな理由があっても、いじめられていい人は一人もいないんだ」

どんな理由があってもだれであっても、いじめられていい人はいないんだ。ぼくも、あの
子も、みんな！

この後、「ぼく」が、いじめている人に話
をして、いじめをやめさせていきました。

■いじめがあった時には「誰かに相談する」
ことを、子供たちに話をしています。

と同時に「周りの人」の行動がとても大
切です。他の人のことを気にかける、困ってい
る人に声をかける、さらにいじめをなくす行
動が必要です。心優しい南小をぜひみんなで
つくっていきたいと思います。



引き渡し訓練 静かに行動できました！

■5月22日（木）の引き渡し訓練では大変お世話になりました。

掃除の後に、帰りの準備から体育館集合まで、とても素早く静かに行動することができました。体育館でも静かに話を聞き、迎えを待つことができました。

緊急時に行動する時には、慌てず落ち着いて、かつ素早く行動する必要があります。事前に学級でも指導がついていましたが、子供たちの動きに感心しました。

担当の西先生からは、「本当の大雨の時には、下校してから川や用水路などに近づかない」との話がありました。とても大切なことです。

各ご家庭でも、大雨の時の備えや安全についての話をされてください。

■引き渡し訓練は、ここ数年、引き渡し方法などを修正してきましたが、今回はスムーズに実施することができたように思います。もし、改善点などがあればご連絡いただければ、さらに検討していきたいと思います。実際の大雨を想定した動きができるように、備えをしていきたいと考えています。



3年お茶摘み いい体験ができました！

■5月20日（火）に、3年生が川辺地区の川上さんの茶畠で、お茶摘み体験を行いました。3年生では、総合的な学習の時間に「相良村のじまん」という学習を進めていきます。その第1回目の体験学習として行いました。川上さんから「一芯二葉」で摘むことを教えていただき、お茶摘みを始めました。広い茶畠をぐるっと1周しながら摘んでいきました。最初は、どれを摘んだらいいんだろうと戸惑う子供もいましたが、だんだん慣れていく、どんどん摘むことができました。

お茶摘みの後は、冷たいお茶やお茶の葉のてんぷらをいただきました。子供たちは「おいしい」と言いながら、笑顔でいたしました。

川上さんの話では、「お茶の生産量は、相良村が熊本県1位です」「相良村が、日本で一番古くからお茶の栽培を始めました」といった内容もあり、子供たちは驚いていました。

今後各学年で「相良ふるさと学習」を行い、相良村のよさを体感していきたいと思います。

